

発注者支援に本格参入

月内にも子会社を設立

大日本コンサルタントの川神雅秀社長は9月30日、公共事業の発注者支援業務と現場調査業務の受注に力を入れるため、子会社を10月にも設立する方針を明らかにした。発

注者側の職員が減少するた
め、需要の増加が見込まれる
ことと、同社の主力である道
路の新設が減少傾向にあるこ
とから、業務領域の拡大を図
る。

11面参照

子会社は、社員十数人でス
タート、最初の1年は試行期
間と位置付けている。社員に
ついて川神社長は、途中採用
は困難と指摘、「現在可能な
人的資源を活用する」と述べ

た。具体的には、定年退職して
再雇用した社内の技術者と、
施工管理の業務を個人として
同社から請け負っている社外
の技術者で構成する。

長は、同業務の単価が現在は
安いと、安いが、「今後はもっと高い
レベルの業務が出てくる」と
期待を示した。現場調査業務
は、インフラの維持管理や保
全関連、環境関連などが増え
ていることから、これらを主
体に受注活動をする。